

イー・アクセス株式会社 【9427】

2009年3月期第1四半期 決算説明資料
(2008年4月 ~ 2008年6月)



2008年8月12日

I. 2009年3月期第1四半期決算の総括 3 ページ

II. アッカ・ネットワークス社との業務・資本提携 5 ページ

III. イー・アクセス 11 ページ

➤ 決算の詳細 12 ページ

➤ 事業の状況 18 ページ

IV. イー・モバイル 21 ページ

➤ 決算の詳細 23 ページ

➤ 事業の状況 26 ページ

V. Appendix 31 ページ

I. 2009年3月期第1四半期決算の総括 3 ページ

II. アッカ・ネットワークス社との業務・資本提携 5 ページ

III. イー・アクセス 11 ページ

➤ 決算の詳細 12 ページ

➤ 事業の状況 18 ページ

IV. イー・モバイル 21 ページ

➤ 決算の詳細 23 ページ

➤ 事業の状況 26 ページ

V. Appendix 31 ページ

決算/
株主還元

- 連結売上高は前年同期比61%増加
- イー・モバイル損失が縮小傾向に転じ、連結経常損失は改善
- 配当利回りは3.93%。2008年4月30日に約30億円の自己株式を全額消却。

イー・アクセス/
アッカ業務・
資本提携

- アッカ社と業務・資本提携に合意し、2008年9月より連結子会社化する予定
- シナジー効果及び7ヶ月のアッカ社業績を反映し、イー・アクセス連結及び単体業績予想を上方修正
- 両社あわせたコスト削減のシナジー効果は今後5年間で約70億円を見込む

イー・モバイル
(持分法適用
関連会社)

- 2008年6月末現在の累計契約者数は603,100件
- 2009年3月期第1四半期のマーケット純増シェアは約21%
- 四半期営業及びEBITDAの赤字幅は2008年3月期第4四半期を底に縮小

I. 2009年3月期第1四半期決算の総括 3 ページ

II. アッカ・ネットワークス社との業務・資本提携 5 ページ

III. イー・アクセス 11 ページ

➤ 決算の詳細 12 ページ

➤ 事業の状況 18 ページ

IV. イー・モバイル 21 ページ

➤ 決算の詳細 23 ページ

➤ 事業の状況 26 ページ

V. Appendix 31 ページ

アッカ社との業務・資本提携の目的

1

DSLマーケットシェアの拡大によるスケールメリット

2

事業シナジーの創出による収益拡大

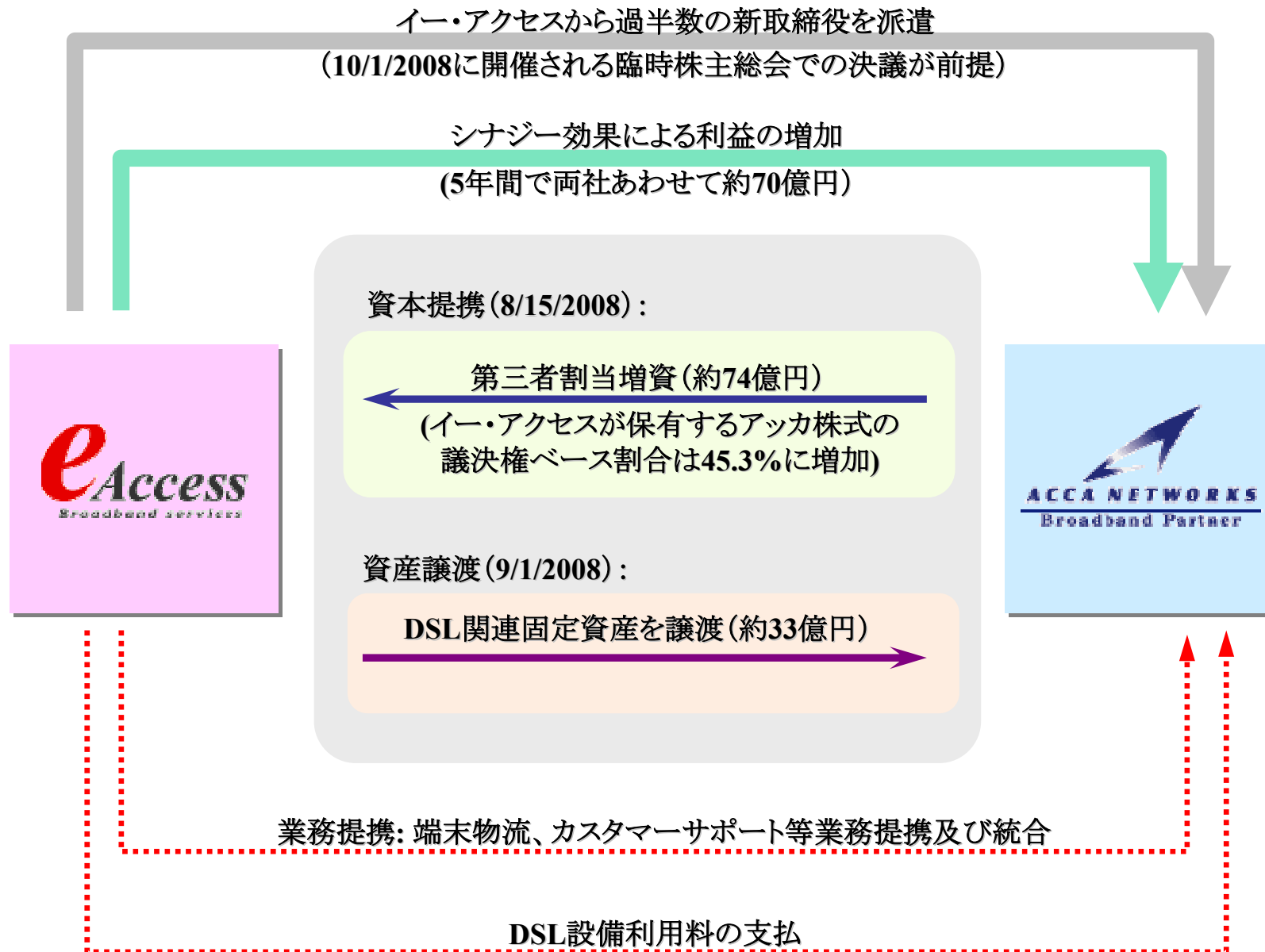
3

財務基盤の強化



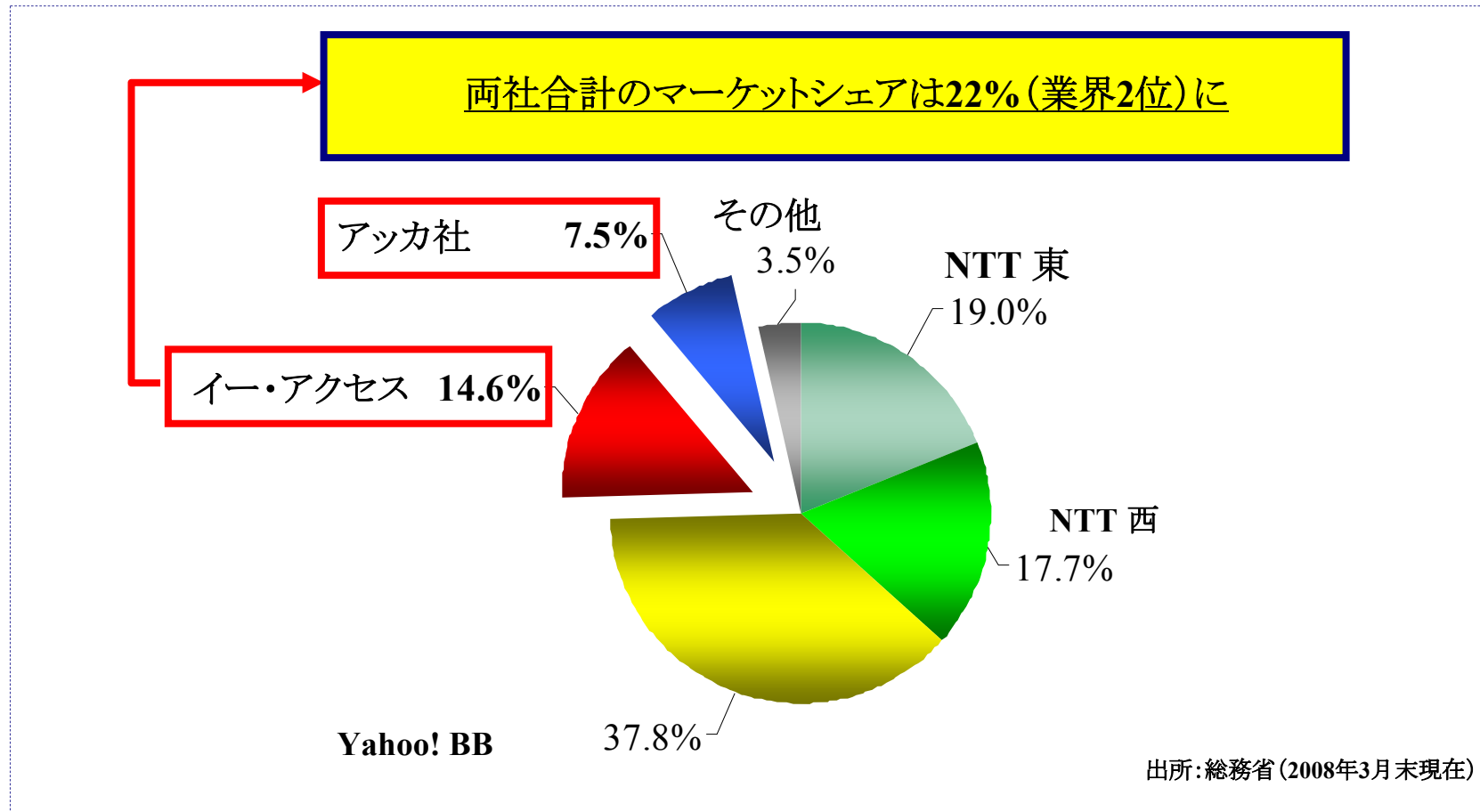
両社の企業価値向上

業務・資本提携のスキーム（予定）



DSLマーケットシェアの拡大

DSLのマーケットシェア拡大により、競争力を強化



2009年3月期通期業績予想の上方修正

アッカ社とのシナジー効果及びアッカ社の7ヶ月間の業績を反映し、
イー・アクセス連結及び単体の通期業績予想を上方修正

(単位:億円)	2009年3月期(4/2008-3/2009)					
	連結			単体		
	修正前 (5/14/2008)	修正後 (7/31/2008)	比較 (増減%)	修正前 (5/14/2008)	修正後 (7/31/2008)	比較 (増減%)
売上高	800.0	950.0	+ 18.8%	800.0	800.0	--
営業利益	127.0	138.0	+ 8.7%	127.0	128.0	+ 0.8%
経常利益(損失)	△61.0	△50.0	na	107.0	110.0	+ 2.8%
当期純利益(損失)	△103.0	△98.0	na	65.0	66.0	+1.5%
EBITDA	191.0	228.0	+ 19.4%	191.0	192.0	+0.5%
設備投資額	48.0	60.0	+ 25.0%	48.0	48.0	--
減価償却額	64.0	90.0	+ 40.6%	64.0	64.0	--
営業FCF	143.0	168.0	+ 17.5%	143.0	144.0	+0.7%
FCF(税引後)	na	na	na	81.0	82.0	+1.2%

注:アッカ社の業績を2008年9月1日から連結対象とする前提で作成。

イー・アクセス連結バランスシート (試算)

アッカ社の連結子会社化により、純資産が増加予定
イー・アクセスの連結財務基盤を強化

■イー・アクセス(連結) (億円)

	3/31/2008		試算 3/31/2008
現金及び現金同等物	476.2	79.1	555.3
有利子負債	845.1	65.2	910.3
純有利子負債	368.9	△13.9	355.0
株主資本合計	205.4		205.4
少数株主持分	6.0	130.0	136.0
純資産	194.3	130.0	324.3

■アッカ・ネットワークス(連結)

	3/31/2008		
現金及び現金同等物	79.1		
有利子負債	65.2		
純有利子負債	△13.9		
株主資本合計	164.5		
純資産	164.5	74.0	

資本提携による
第三者割当増資

少数株主持分
比率

$(164.5 + 74.0) \times (100\% - 45\%) =$

Information purpose only: 3/31/2008現在のイー・アクセス連結バランスシートにアッカ社を連結した前提での試算。3/31/2009のバランスシートは2009年3月期の業績等により、この試算から大きく異なる可能性があります。

I. 2009年3月期第1四半期決算の総括 3 ページ

II. アッカ・ネットワークス社との業務・資本提携 5 ページ

III. イー・アクセス 11 ページ

➤ 決算の詳細 12 ページ

➤ 事業の状況 18 ページ

IV. EMOBILE 21 ページ

➤ 決算の詳細 23 ページ

➤ 事業の状況 26 ページ

V. Appendix 31 ページ

2009年3月期第1四半期実績（連結）

イー・モバイルの持分法投資損失が縮小し、連結経常損失は前年同期から17.5億円改善
連結の業績は通期予想に対し順調に進捗

(単位:億円)	2008年3月期	2009年3月期			
	第1四半期 (4~6/2007)	第1四半期 (4~6/2008)	比較	修正前予想 (5/14/2008)	進捗率
売上高	151.0	242.6	+91.6	800.0	30.3%
営業利益(損失)	△ 15.1	35.0	+50.1	127.0	27.6%
経常損失	△ 32.8	△ 15.3	+17.5	△ 61.0	na
当期純利益(損失)	15.2	△ 28.1	△ 43.3	△ 103.0	na
EBITDA	14.0	51.2	37.2	191.0	26.8%
設備投資額	96.9	5.6	△91.3	48.0	11.7%
減価償却額	29.0	16.2	△ 12.8	64.0	25.3%
営業FCF	△ 82.9	45.6	+128.5	143.0	31.9%

1. 当期純利益に少数株主損失25.5億円(2008年3月期第1四半期)、0.1億円(2009年3月期第1四半期)の控除を含む。
2. 2008年3月期第1四半期の当期純利益にイー・モバイル株式売却益の46.4億円を含む。

2009年3月期第1四半期実績（単体）

売上高は前年同期比73%増
 デバイスや伝送事業の黒字化により営業利益は前年同期比20%増、経常利益は18%増加

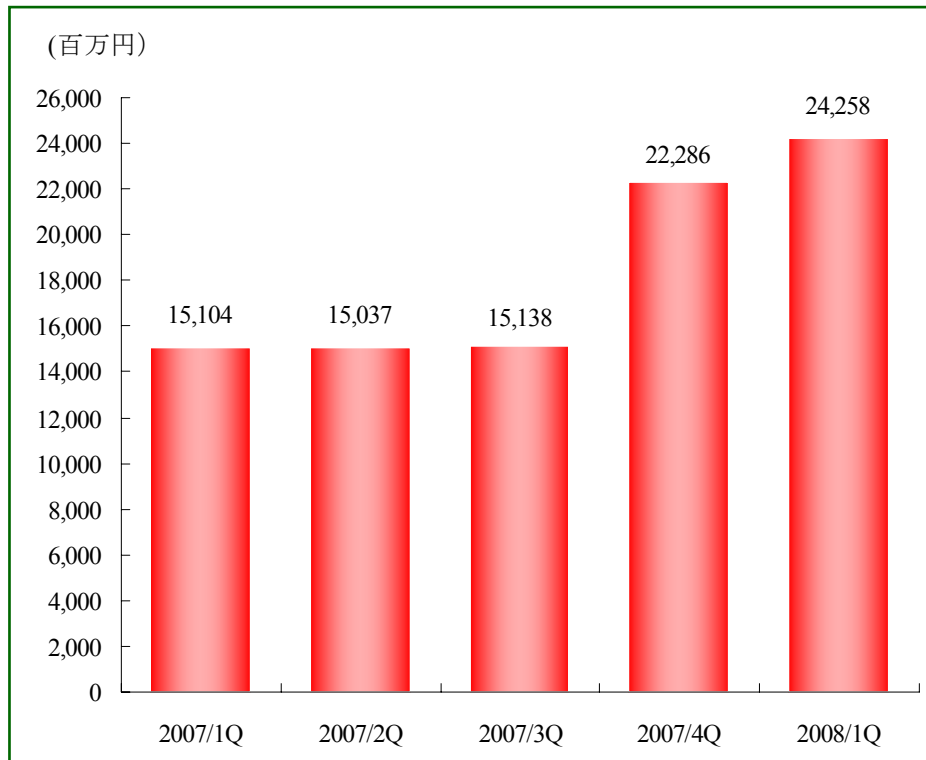
	2008年3月期	2009年3月期			
	第1四半期 (4~6/2007)	第1四半期 (4~6/2008)	比較	修正前予想 (5/14/2008)	進捗率
(単位:億円)					
売上高	139.2	240.5	+101.3	800.0	30.1%
営業利益	27.5	33.0	+5.5	127.0	26.0%
経常利益	24.8	29.3	+4.5	107.0	27.4%
当期純利益	35.5	17.3	△18.2	65.0	26.6%
EBITDA	46.7	49.2	+2.5	191.0	25.8%
設備投資額	13.1	5.6	△7.5	48.0	11.7%
減価償却額	19.2	16.1	△3.1	64.0	25.2%
営業FCF	33.6	43.6	+10.0	143.0	30.5%
FCF(税引後)	41.6	27.8	△13.8	81.0	34.3%

1. 2008年3月期第1四半期の単体当期純利益にイー・モバイル株式売却益の35.0億円を含む。

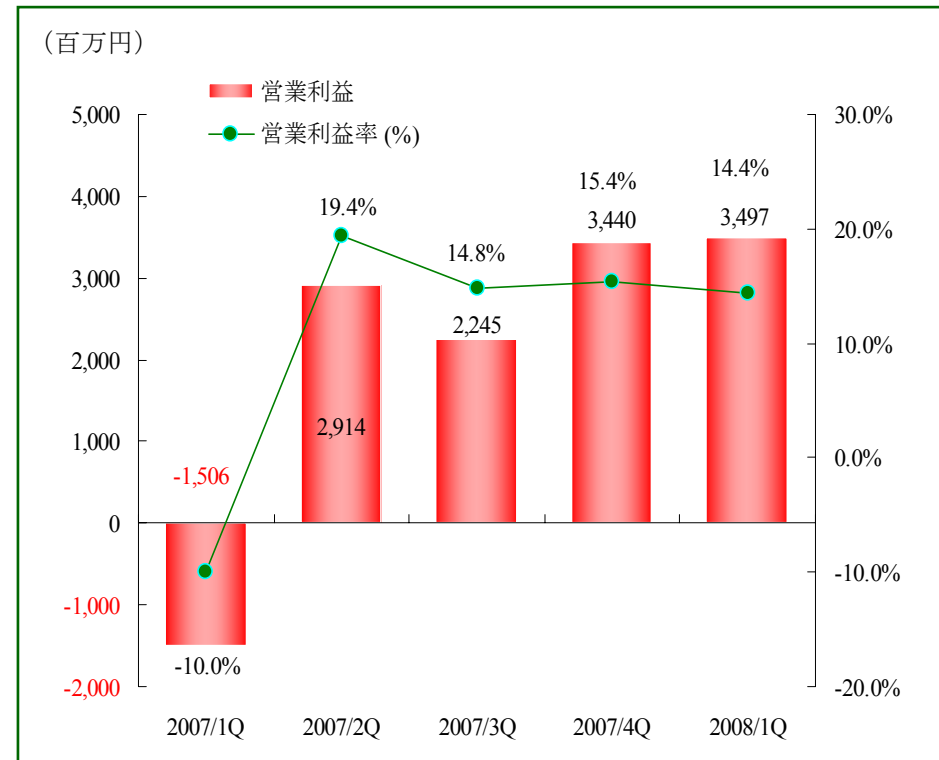
連結売上高及び営業利益/営業利益率の推移

デバイス事業及び伝送事業の貢献により売上高及び営業利益は増加

売上高の推移(連結)



営業利益/営業利益率の推移(連結)

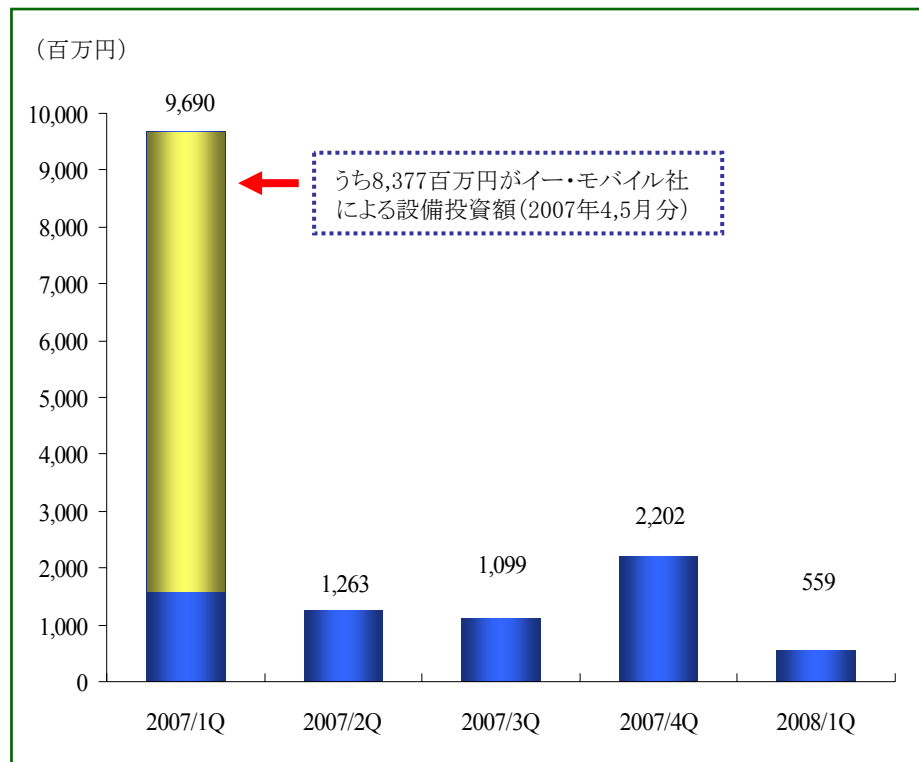


注: イー・モバイルは5/31/2007より持分法適用関連会社に異動。連結では2007/1Qに2ヶ月分のイー・モバイル財務実績が含まれている。

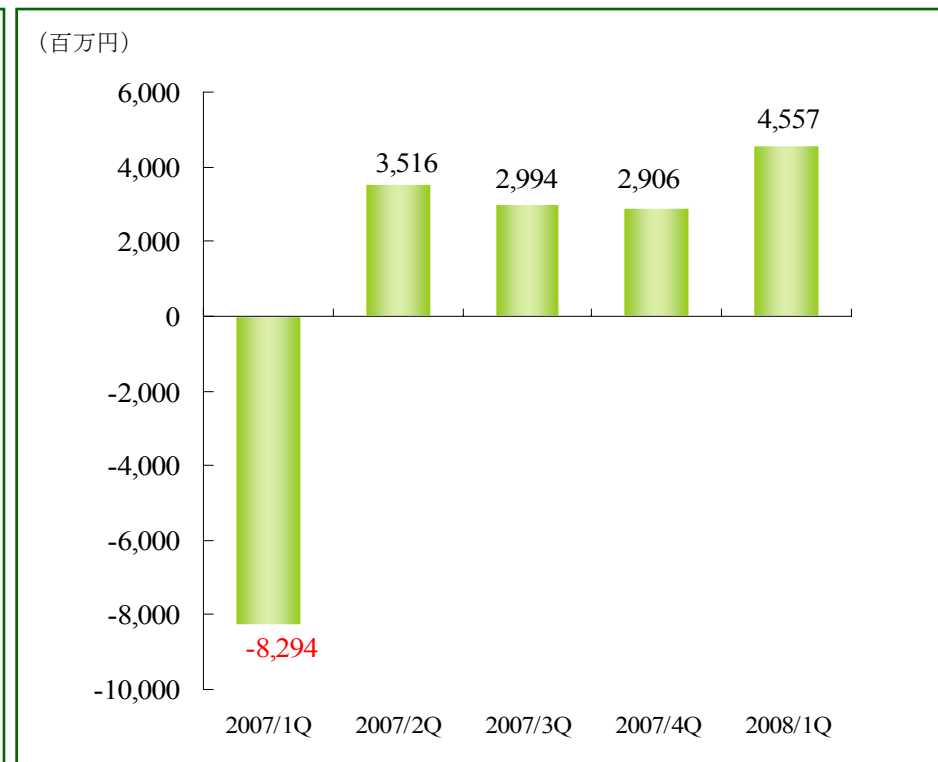
連結設備投資と営業フリーキャッシュフローの推移

設備投資額の減少により、営業フリーキャッシュフローは増加傾向

設備投資の推移 (連結)



営業フリーキャッシュフローの推移 (連結)



* 営業フリーキャッシュフロー = EBITDA - 設備投資

注: イー・モバイルは5/31/2007より持分法適用関連会社に異動。連結では2007/1Qに2ヶ月分のイー・モバイル財務実績が含まれている。

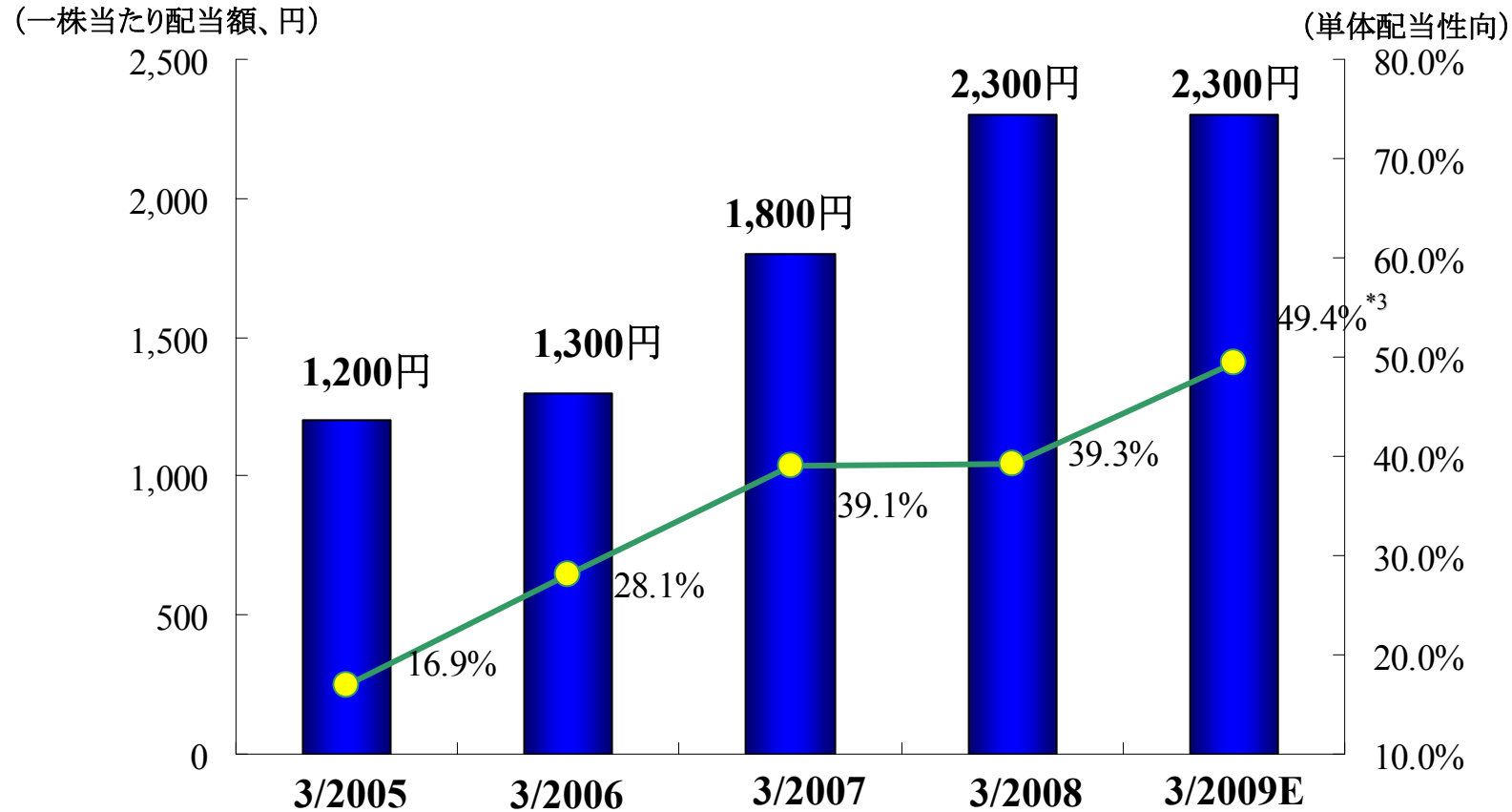
バランスシート of 状況

6月末時点の現金及び現金同等物は約470億円、純有利子負債は約360億円を維持

	2008年6月末		2008年3月末	
	連結	単体	連結	単体
(単位:億円)				
現金及び現金同等物	473.9	466.5	476.2	468.4
有利子負債	839.2	839.2	845.1	845.1
純有利子負債	365.4	372.8	368.9	376.7
株主資本	169.2	429.6	205.4	420.3
少数株主持分	6.0	--	6.0	--
純資産	158.2	412.6	194.3	403.2
総資産	1,100.9	1,354.9	1,215.9	1,424.5
純有利子負債/株主資本比率	215.9%	86.8%	179.6%	89.6%

株主還元

2009年3月期における単体配当性向は約50%を予定
2008年4月30日に約30億円の自己株式を全額消却



配当
利回り

1.32% ^{*1}	1.43% ^{*1}	2.30% ^{*1}	3.75% ^{*1}	3.93% ^{*2}
---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

業界最高水準
配当利回り

*1 各年度末の株価をベースに算出。

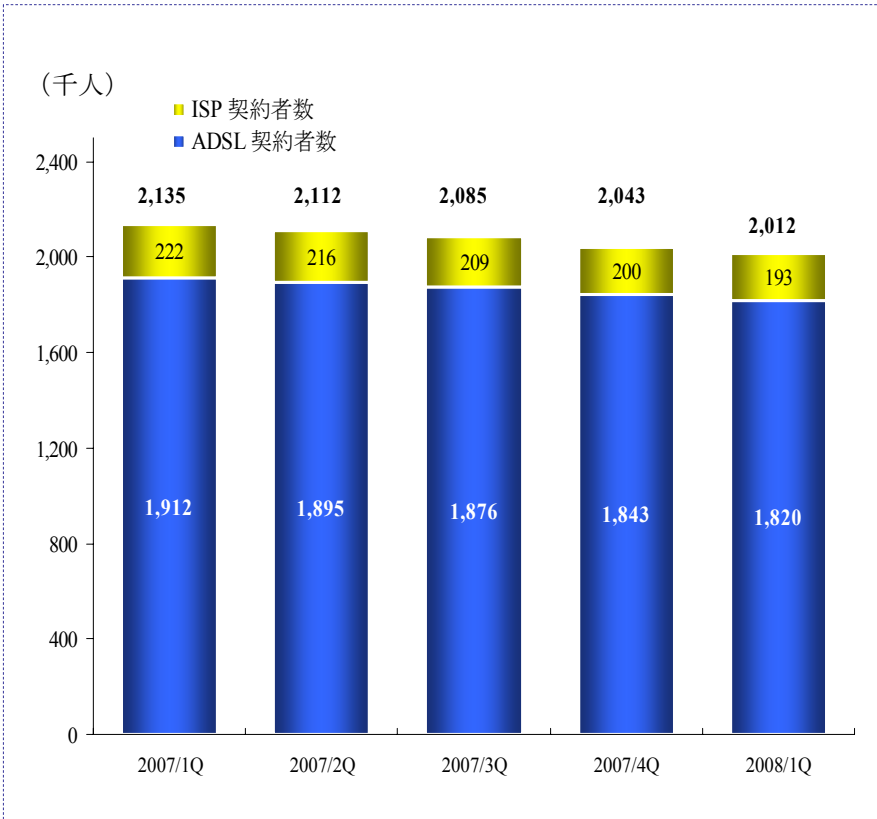
*2 2008年8月11日株価58,500円をベースに計算。

*3 2008年7月31日発表の通期業績予想に基づく。

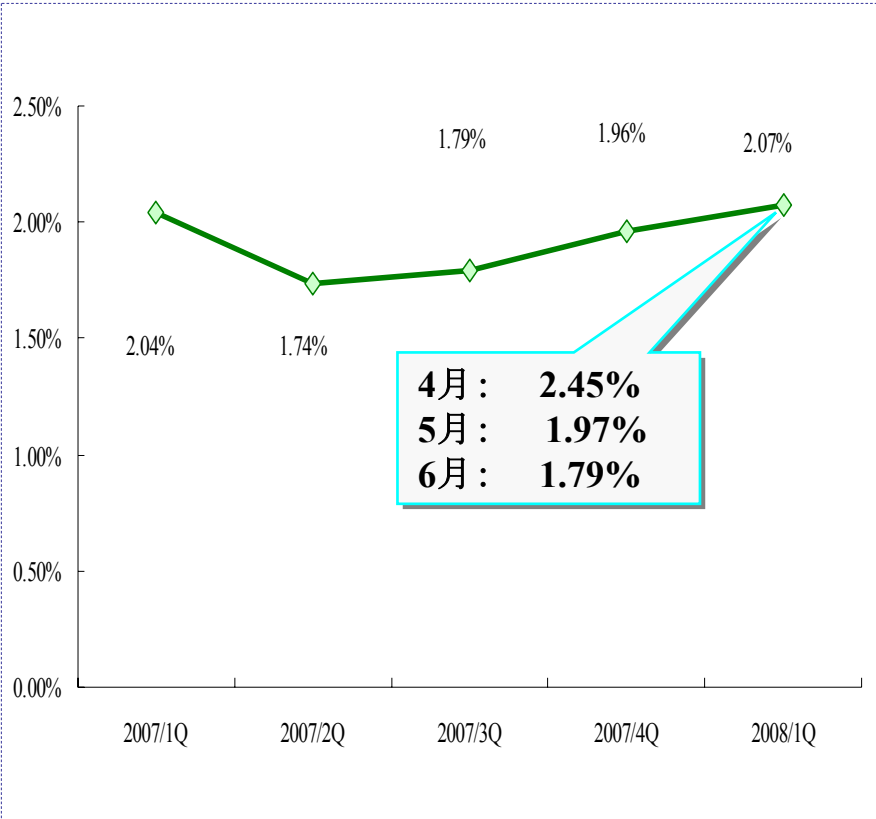
契約者数及び解約率推移

ADSL・ISP契約純減数は予想よりも良い水準で推移

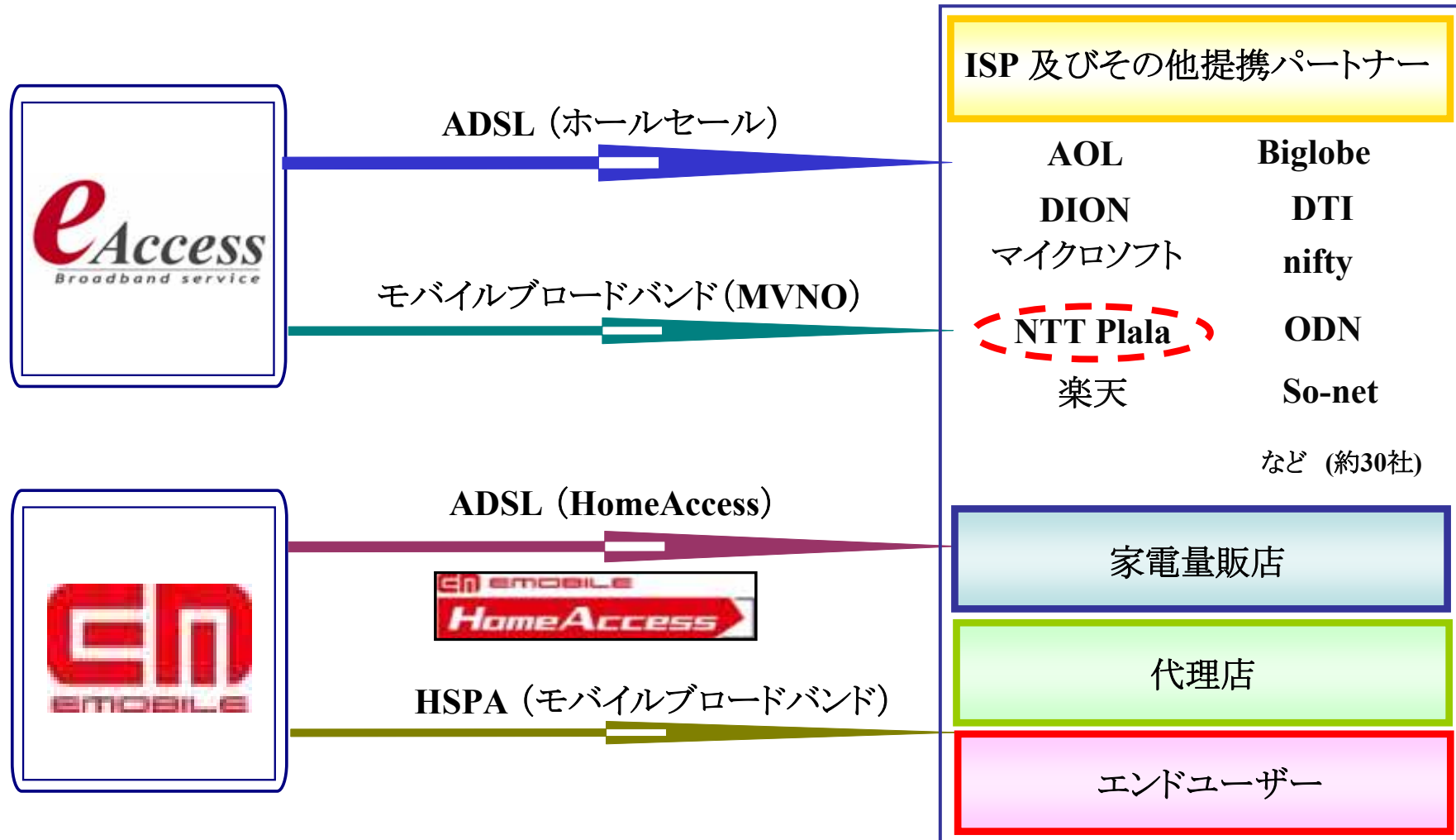
ADSL・ISP契約数の推移



ADSL 解約率の推移



パートナーとの連携を通じた新しいビジネスモデルを構築し、事業領域を拡大



デバイス事業の状況

設立1年でイー・モバイルに合計11機種種の端末を提供
イー・モバイルの成長に伴い売上高は増加



I. 2009年3月期第1四半期決算の総括 3 ページ

II. アッカ・ネットワークス社と業務・資本提携 5 ページ

III. イー・アクセス 11 ページ

➤ 決算の詳細 12 ページ

➤ 事業の内容 18 ページ

IV. イー・モバイル 21 ページ

➤ 決算の詳細 23 ページ

➤ 事業の内容 26 ページ

V. Appendix 31 ページ

契約者数

- 2008年6月末時点の累計契約者数は**603,100** 件
- 2009年3月期第1四半期の平均解約率は**1%**以下

- 2009年3月期第1四半期の純増シェアは約**21%**

エリア

- 6月末時点の自網での人口カバー率は約**84%**
(NTTドコモローミングを含んだ人口カバー率は約**96%**)

- 地下街・地下鉄のエリア化が進行中

マーケティング

- 一部量販店がミニPCとデータカードのセット販売を開始

- 国際電話及び国際ローミングサービスを開始

契約者数の増加に伴い売上高が拡大
 売上の拡大と共に四半期ごとの損失幅は着実に縮小

(単位:億円)	2008年3月期 第1四半期	2008年3月期 第2四半期	2008年3月期 第3四半期	2008年3月期 第4四半期	2009年3月期 第1四半期
売上高	22.4	29.3	36.9	56.4	106.8
営業損失	△66.1	△72.2	△88.3	△155.5	△103.8
経常損失	△78.2	△78.7	△95.9	△166.8	△116.5
当期損失	△78.2	△78.7	△96.1	△167.2	△116.7
EBITDA損失	△50.5	△50.0	△60.5	△114.9	△61.8
設備投資額	161.9	202.3	165.9	452.0	66.7
減価償却費	15.5	22.3	27.8	40.6	41.9
.....					
累計契約数	60,200	122,000	205,900	411,500	603,100

イー・モバイルバランスシートの状況

2008年6月末時点1,100億円超の現預金残高及び700億円の銀行コミットメントラインを確保

	2008年3月末	2008年6月末
(単位:億円)		
現金及び現金同等物	937.4	1,121.3
有利子負債	1,067.9	1,756.6
純有利子負債	130.5	635.3
株主資本合計	863.9	747.1
総資産	2,503.0	2,760.0
純有利子負債/株主資本比率	15.1%	85.0%

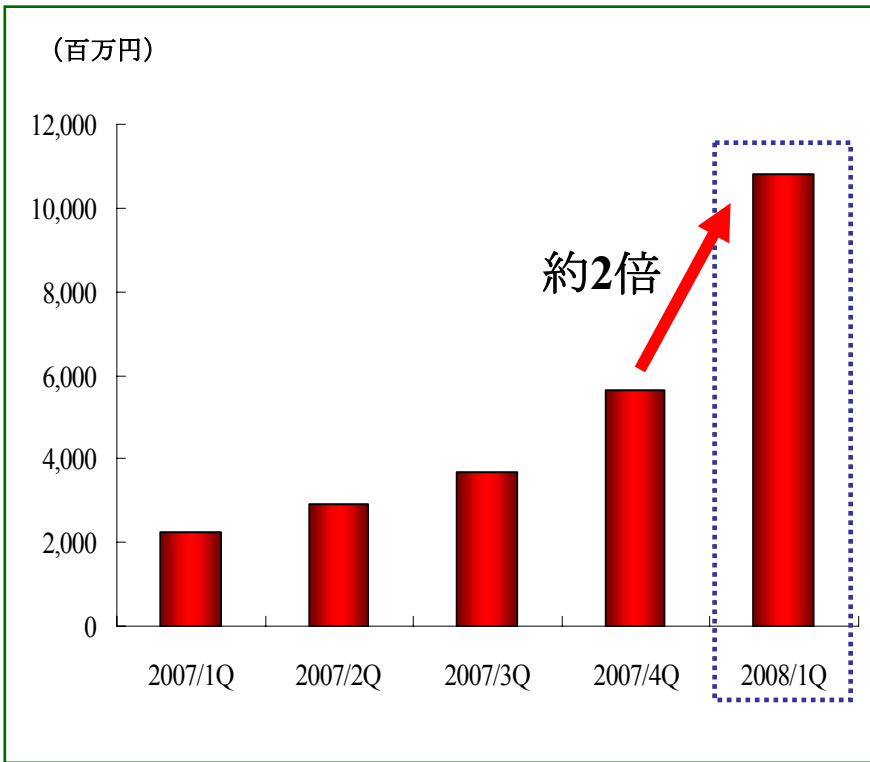
未使用
コミットメントライン

700億円

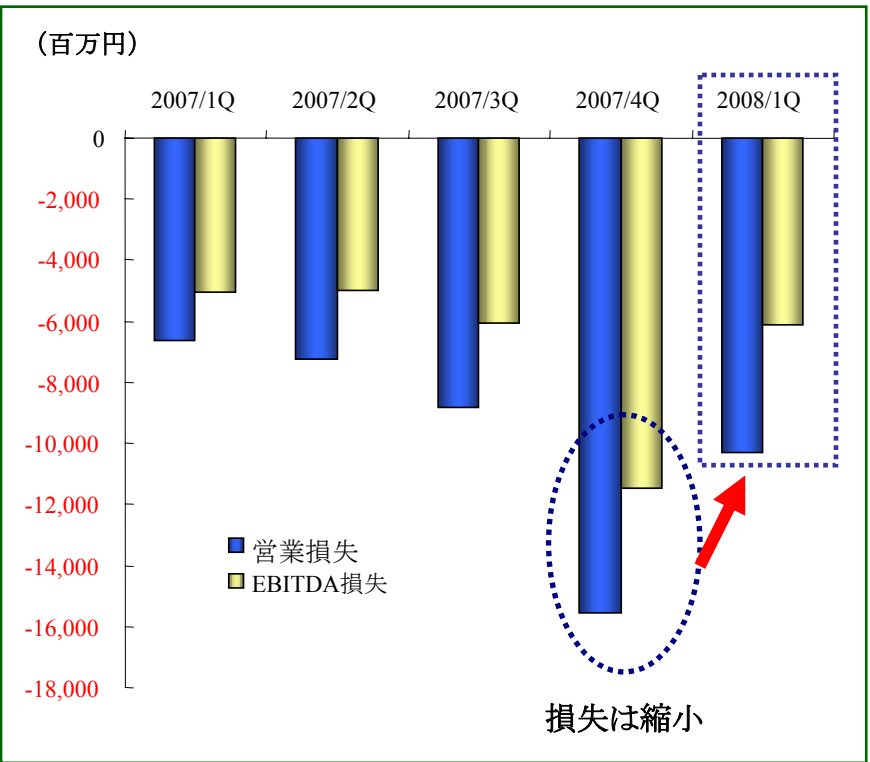
イー・モバイル主要財務指標の推移

2009年3月期第1四半期売上高は2008年3月期第4四半期に比べ約2倍に上昇
 営業及びEBITDA損失は2008年3月期第4四半期を底に縮小

売上高の推移

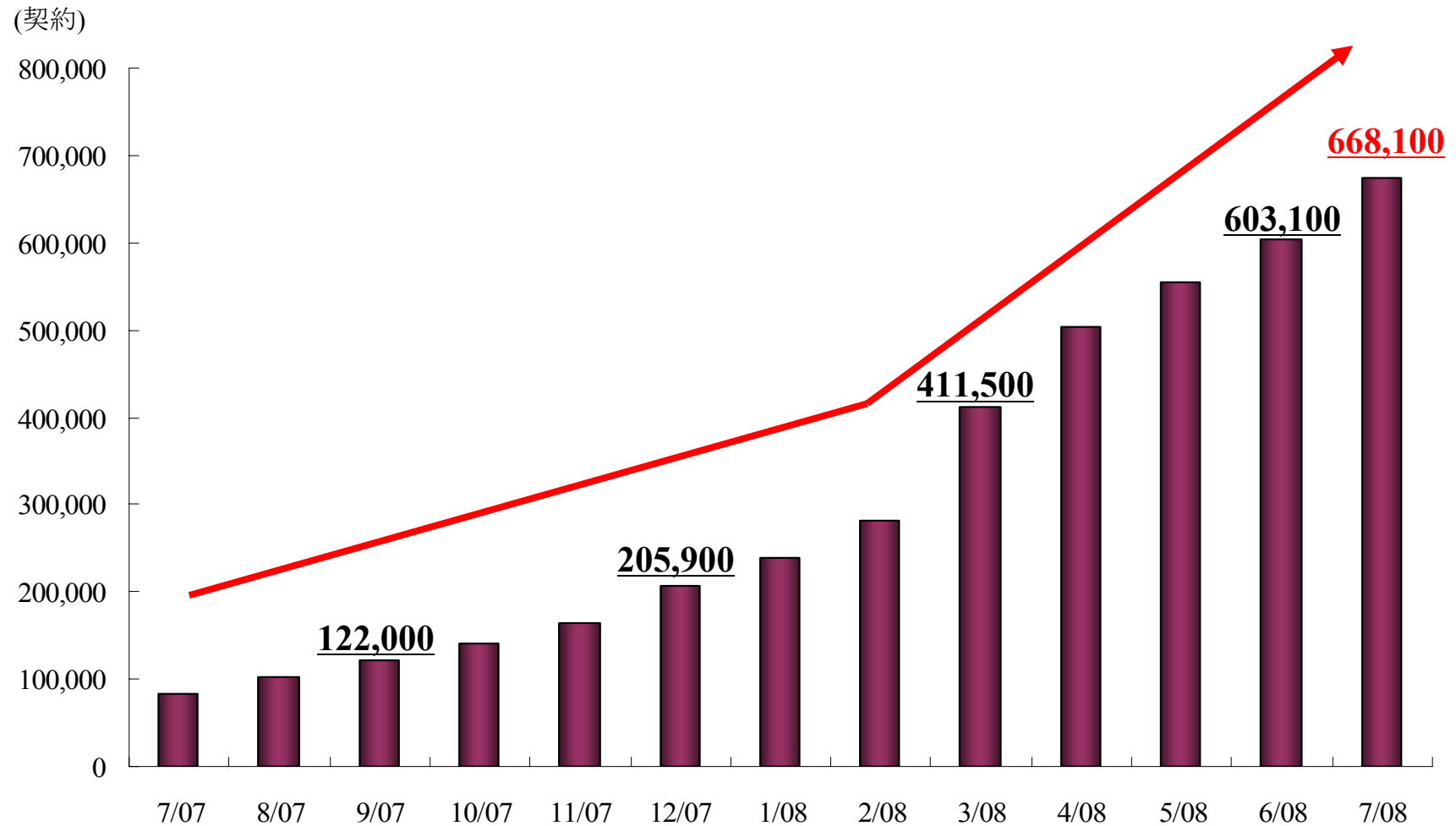


営業及びEBITDA損失の推移



契約者数推移

7月末現在668,100契約を達成。契約者数は予想通りに進捗

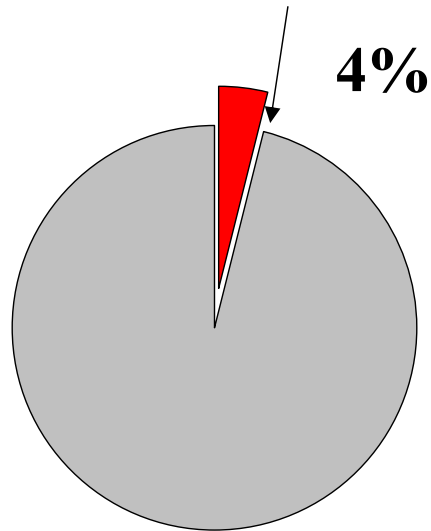


純増シェアの拡大

市場の純増数に対するシェアは着実に拡大
2009年3月期第1四半期の純増シェアは21%に上昇

2007年3月～2007年11月

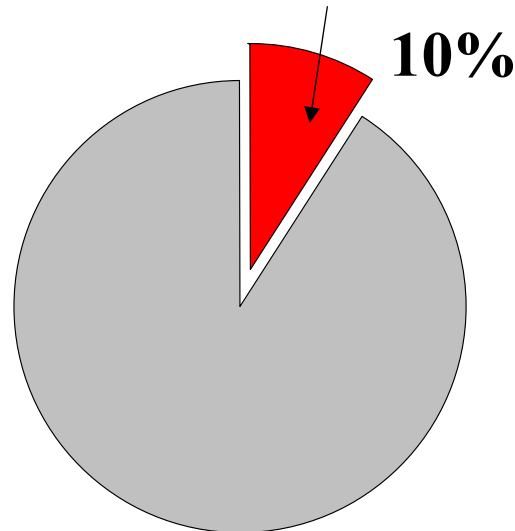
✓ 3.6Mbps サービス



$$\frac{\text{EM純増数16.4万}}{\text{市場純増数419.0万}} = 4\%$$

2007年12月～2008年3月

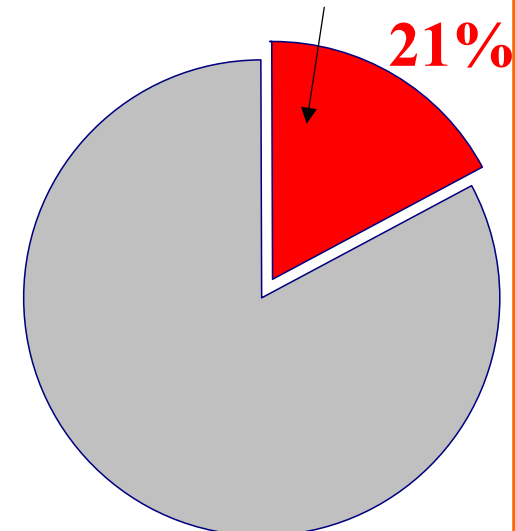
✓ 7.2Mbps サービス
✓ エリア拡大



$$\frac{\text{EM純増数24.7万}}{\text{市場純増数247.0万}} = 10\%$$

2008年4月～2008年6月

✓ データ・音声サービス
✓ 更なるエリア
展開



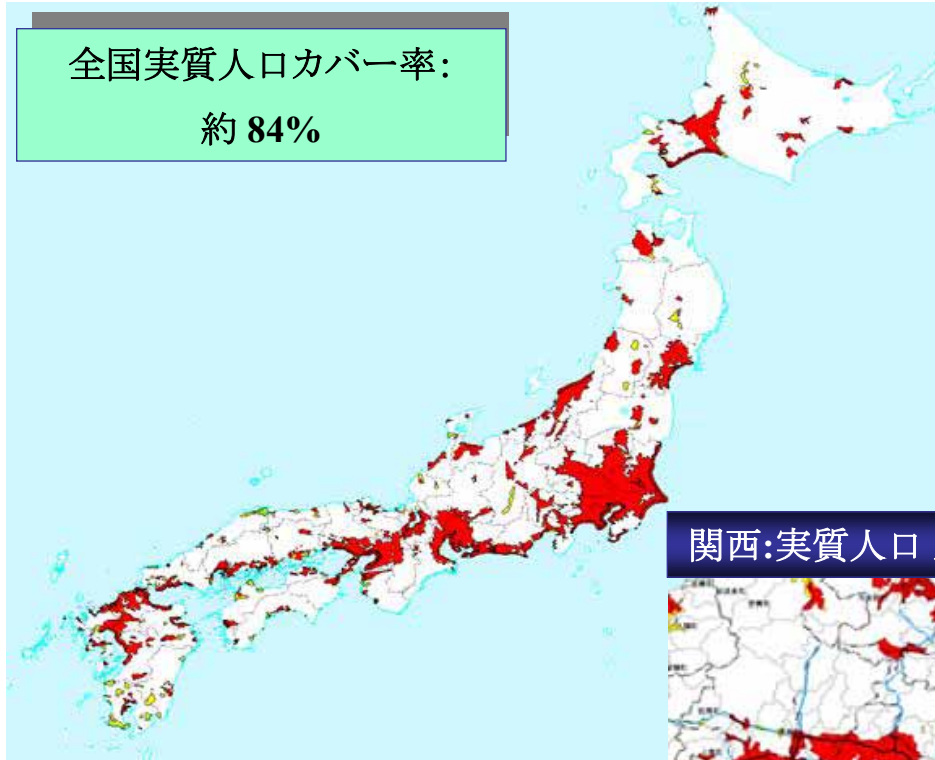
$$\frac{\text{EM純増数19.2万}}{\text{市場純増数92.3万}} = 21\%$$

(出所: TCA)

自網によるサービスエリア

2008年6月30日現在イー・モバイル自網による全国実質人口カバー率は約84%
(NTTドコモローミングを合わせて約96%)

全国実質人口カバー率:
約 84%



関東:実質人口カバー率約98%



関西:実質人口カバー率約93%



東海:実質人口カバー率約91%



(2008年6月30日現在)

ミニPCとデータカードのセット販売

一部量販店がミニPCとデータカードのセット販売を開始
モバイルデータサービスの潜在的な顧客層が拡大し、7月中旬より加入者獲得が加速



低価格ミニPC

+



D02HW by Huawei



モビリティを極めたモバイルブロードバンドサービス

端末ラインナップ

EMONSTER (S11HT) EMONSTER lite (S12HT) H11T H11HW データカード PDA



下り最大 通信速度	3.6Mbps	3.6Mbps	3.6Mbps	3.6Mbps	7.2Mbps	3.6Mbps
PC接続 インターフェース	USB (Bluetooth2.0)	USB (Bluetooth2.0)	USB (赤外線/Bluetooth1.2)	USB (Bluetooth2.0)	CF, USB PCカード Express	USB (Bluetooth 1.2)
初期費用* (ご加入アシスト にねん)	19,980円 1,000円/月	5,980円 1,000円/月	9,980円 1,000円/月	5,980円	5,980円~ 9,980円	39,800円**
データ通信料*	1,000円~4,980円 (ケータイプラン 新にねん)				1,000円~4,980円 (スーパーライトデータプラン 新にねん)	
音声通話料金	月額基本料	通話料				
	0円	18.9円/30秒				
	980円	EM端末同士:0円 固定電話:5.25円/30秒 他社携帯&PHS:9.45円/30秒				

*2年契約時
**「にねん」の場合

I. 2009年3月期第1四半期決算の総括 3 ページ

II. アッカ・ネットワークス社と業務・資本提携 5 ページ

III. イー・アクセス 11 ページ

➤ 決算の詳細 12 ページ

➤ 事業の状況 18 ページ

IV. イー・モバイル 21 ページ

決算の詳細 23 ページ

事業の状況 26 ページ

V. Appendix 31 ページ

2009年3月期第1四半期実績のセグメント情報

	2009年3月期第1四半期 (4/2008-6/2008)			
	ネットワーク 事業*	デバイス 事業	EM等持分法	連結
(単位:億円)				
売上高	131.4	111.2		242.6
営業利益	30.3	4.8		35.0
経常利益	29.3		△46.7	△15.3
当期純利益	17.3			△28.1
EBITDA	46.4	4.9		51.2
設備投資額	5.6	0		5.6
減価償却費	16.1	0.1		16.2
営業FCF	40.8	4.9		45.6

* ネットワーク事業: ADSL事業、ISP事業、MVNO事業、伝送事業

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。ここに示した意見は、本資料作成日現在の当社の意見を示すのみです。当社は、本資料中の情報を合理的な範囲で更新するようにしていますが、法令上の理由などにより、これをできない場合があります。